

2014年10月10日

常州西太湖科技産業園について

愛知県上海産業情報センター
安田 龍

1 常州市及び武進区の概要

今回ご紹介する常州西太湖科技産業園は、江蘇省常州市武進区にありますので、まず常州市及び武進区の基礎データ等をご紹介します。

常州市は、揚子江デルタの南、上海市から約160km、南京市から約110kmの距離に位置しており、高速鉄道に乗ると上海から常州まで約1時間で着くことができます。

観光資源としては、1,300年余りの歴史を持つ古刹として中国の重点保護寺院及び江蘇省文物保護単位となっている「天寧寺」や恐竜の化石やアトラクションのあるテーマパーク「中華恐竜園」等が有名です。

常州市には、2つの県級市（金壇市、溧陽市）と5つの行政区（武進区、新北区、天寧区、鐘樓区、戚墅堰区）から構成されており、面積は4,385平方キロメートル、人口は約469万人、GDPは4360.9億元で、市内には製造企業が70,000社以上あり、このうち外資企業は7,000社を超えている新興工業都市です。

武進区は面積1,266平方キロメートル（常州市29%）、人口約156万人（常州市34%）、GDP1,700億元（常州市40%）で、常州市最大の区であり、約2万社の製造企業があります。



【天寧寺】



【中華恐竜園】

2 常州西太湖科技産業園について

(1) 概況

常州西太湖科技産業園は、開発計画面積は90平方キロメートルであり、バイオ医薬や医療機器等の「健康産業」、グラフェンをはじめとする「新素材産業」、農業機械や自動車部品の「先進的設備製造業」、電子商取引・現代物流等の「現代サービス業」を重点産業として設定しています。

また、日本中小企業の初期段階の支援を政策方針とし、より早く中国市場へ参入できるようサポートを提供する「日本中小企業園」を設置していることも大きな特長となっています。

今回は、今後中国進出を検討される中小企業のために「日本中小企業園」について詳しくご紹介します。

(2) 日本中小企業園

日本中小企業園は、2期に分けられ、第1期はインキュベーターを主とし、レンタル工場を提供し、電子・ソフトウェア研究開発・貿易・コンサルティング会社等を対象としています。一方、第2期は機械産業用工場及び産業用地を提供することとしています。

【受け入れ基準】

登録資本金は製造企業の場合1,000万円（13万米ドル）以上、研究開発・貿易関係企業の場合200万円（3万米ドル）以上となっており、リース期限は3年間になります。

【優遇制度】

賃貸料はオフィスのみの賃貸の場合は3年間賃料無料、工場面積が200～500平方メートルの場合はオフィスと工場3年間賃料無料、工場面積500～18,000平方メートルの場合は1年目賃料無料、2年目賃料半額となっています。リース期間終了後も、要件に応じて、優遇価格での土地契約や工場の代行建設によるリース契約または購入契約も可能となっています。

税制面では、企業所得税は地方留保部分を最初の3年間は全額、その後3年間は半額を返還し、外国籍従業員個人所得税は地方留保分を最初の2年間は全額、その後3年間は半額を返還することとなっています。

また、園区内には、初期投資を抑えたい中小企業の為に共有の受付や応接室・会議室・給湯室が用意されているとともに、会社設立申請手続や人材募集等の初期段階のサービスも無料で提供しています。

【日本中小企業園第1期】



【日本中小企業園第2期】



上海産業情報センターでは、今後も引き続き各地の経済開発区について、情報提供していきたいと思えます。

本資料は、参考資料として情報提供を目的に作成したものです。

上海産業情報センターは資料作成にはできる限り正確に記載するよう努力しておりますが、その正確性を保証するものではありません。

本情報の採否は読者の判断で行ってください。

また、万一不利益を被る事態が生じましても当センター及び愛知県等は責任を負うことができませんのでご了承ください。